

玉川上水景観基本軸の景観形成基準に対する措置状況説明書（建築物の建築等）

当該行為における景観形成に関する考え方	
記載欄	
(1) 配置	
	玉川上水沿いの自然環境に対して、通風、日照、開放性に配慮したオープンスペースを確保し、玉川上水の緑を周辺の街から見通すことができるよう視界を確保した配置とする。 記載欄
	壁面の位置の連続性や適切な隣棟間隔の確保など、周辺の街並みに配慮した配置とする。 記載欄
	玉川上水にも建築物の顔を向けた配置とする。 記載欄
	敷地内や周辺に歴史的な資源や残すべき自然などがある場合は、これらを生かした配置とする。 記載欄
(2) 高さ・規模	
	高さは、周辺建築物群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。特に、玉川上水や緑道の樹木と隣接する敷地では、玉川上水や緑道に面する建築物の高さが、玉川上水や緑道の樹木の最高高さを超えないよう工夫する。 記載欄
	玉川上水沿いの散策路や周辺の主要な眺望点（道路・河川・公園など）からの見え方に配慮した規模とする。 記載欄
(3) 形態・意匠・色彩	
	形態・意匠は、建築物自体のバランスだけでなく、玉川上水の自然環境や周辺建築物との調和を図る。 記載欄
	玉川上水の樹林への日照や通風など、自然環境に配慮した形態とする。 記載欄
	外壁は玉川上水や緑道に面する壁面を分節化するなど、長大な壁面を避け、圧迫感の軽減を図る。 記載欄

色彩は、別表2に定める色彩基準に適合するとともに、周辺景観との調和を図る。
記載欄

屋根・屋上等に設備等がある場合は、建築物と一体的に計画するなど周囲からの見え方に配慮する。
記載欄

建築物に附帯する構造物や設備等は、建築物本体との調和を図る。
記載欄

(4) 公開空地・外構・緑化等

玉川上水沿いにオープンスペースを確保し、隣接するオープンスペースとの連続性をもたせる。
記載欄

敷地内はできる限り緑化を図り、玉川上水の緑と一体的な空間とする。また、屋上や壁面の緑化を積極的に検討する。
記載欄

緑化に当たっては、武蔵野の緑に適した樹種を選定するとともに、植物の良好な生育が可能となるよう、植栽地盤を工夫する。
記載欄

敷地内に自然の水面や湧水がある場合は、それらを生かした計画とする。
記載欄

宅地部や田園部の閑静な街並みでは、過度な照明を使用しない。
記載欄

外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺の街並みと調和を図った色調や素材とする。
記載欄

上記以外で特に景観に配慮した事項

--